

平成29年度著しい環境側面一覧表

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	緊急時	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	29年度取組										
4	庁舎管理事務 総務文書課	庁舎整備事業の完了により、平成29年度が全面供用開始後の通年使用となるため、光熱水費、維持管理費用等の削減に努めます。	一般事務 庁舎管理	○		－	×	×	－	×	－	
総務部	対象: 市役所本庁舎、りんご庁舎	市役所及びりんご庁舎を維持管理するための光熱水費や通信運搬費、事務機器等の借上料などの支出事務や、施設や設備の保守点検業務などを行いました。また、平成29年度は庁舎整備後の通年使用1年目であり、光熱水費の削減に向けた取り組みのため、電気、ガス等のエネルギーの使用量を計測しました。	庁舎管理 庁舎管理 廃棄物置場管理 駐車場管理	○	○	×	×	×	×	×	×	○
意図:	本庁舎、りんご庁舎の適正な管理		市民意識の高揚	○		○	○	○	○	○	○	○
7	広報広聴事業 秘書広報課	広報いいだを中心とした各種媒体から発信する情報が、市民にわかりやすく伝わるとともに、マスコミを通じた情報提供を積極的に行い、よりいっそうの情報浸透を図る必要があります。やらまいか提言をはじめとした市政への意見には迅速に回答するとともに、市政へ反映できるように努める必要があります。										
市長公室	対象: 全市民	・広報いいだを発行しました。(1日号34,400部／回 年12回、15日号33,600部／回 年10回)										
意図:	市政に関する情報をわかりやすく提供することで、必要な行政情報が十分に入手できると感じる	・テレビ広報を制作し、放送しました。(10回)・コミュニティFM「かざこし歳時記」を計画通り放送しました。(1日2番組(週替わり)) ・音声告知放送を放送しました。(一日4回)・28年度市民意識調査の結果を公表しました。 ・29年度市民の意識に関する基礎世論調査を実施しました。(調査対象2,000人、回答数884人)・記者会見を実施しました。(月2回)										
10	車両管理事務 総務文書課	公用車の適正な整備点検の実施と、経年劣化により老朽化した車両の更新を行います。	一般事務 自動車関係廃棄物の発生 燃料の消費 エコカー購入	○		－	×	×	－	×	－	
総務部	対象: 庁用車及び総務文書課共有管理車両		洗車場の排水 軽微な修繕 車両の廃棄 車両からのフロンガスの漏えい	○	○	×	×	×	×	×	×	
意図:	良好な状態を維持します。	公用車の適正な整備点検の実施と、経年劣化により老朽化した車両(ハイブリッド車、軽乗用車、軽貨物車、マイクロバス)の更新を行いました。	一般事務 ノーマイカー通勤による燃料消費抑制 公用車運転時の燃料流出、火災	○	○	－	×	×	×	×	×	
35	人事管理事務 人事課	スリムで効率的な行政運営を行うため、引き続き適正な人事管理を実施していく必要があります。また、国や県、他の地方公共団体の給与や勤務時間等の勤務条件の見直しの動向を踏まえ、適正な人事制度を実現していくとともに、正確かつ迅速な給与支給が求められます。										
総務部	対象: 職員	行政職、専門職及び医療職に必要な職員を採用するために新卒を中心とする上級・初級試験に加えて、社会人としての実務経験を生かすための社会人選考を実施しました。人事院勧告をはじめとする国の規則改正等に合わせて、俸給表、休暇制度及び退職手当条例等の改正を行いました。法令、条例等に基づいた適正な給与支給や人事管理を行うため、人事給与システムの適切な運用及び管理を行いました。										
意図:	適正な人事管理、正確かつ迅速な給与管理の実施	・納期限内に納付のない納税義務者に対しては、督促状・催告書・警告書を送付し早期に自主納付いただくよう働きかけますが、それでもなお納付いただけない場合は、優良な納税義務者との公平を期すため厳正な滞納処分を執行することが必要です。 ・納期限内に納付のない納税義務者に対し、督促状、催告書等を送付し早期の自主納付を働きかけました。 ・広報などにより口座振替納付を推進しました。(口座振替割合 48.35パーセント) ・充分な納税資力を有しながら誠実な納税意思が認められない滞納者に対し、迅速かつ適正な滞納処分を行いました。(差押件数 2,065件) ・滞納額が大きく早期解決が困難なケースの一部を長野県地方税滞納整理機構に移管し徴収業務を依頼しました。(移管件数 40件) ・市税の過誤納分の迅速正確な還付に取り組みました。										
49	市税徴収事務 納税課	納付いたいた市税を正しく迅速に収納管理するとともに、納付しやすい環境の整備や、納税意識の高揚に努め、現年度収納率を向上させることが、市民サービスのための安定した自主財源の確保につながります。	一般事務 家庭用冷蔵庫の廃棄 軽自動車の廃棄	○	○	－	×	×	－	×	－	○
総務部	対象: 納税義務者											
意図:	市税の正確な収納管理を行うとともに、未納の解消を図る											
57	市議会議員選挙事務 選挙管理委員会事務局	投票事務の効率化を図りながら、適正かつ円滑な選挙事務を行います。	一般事務 ホスター掲示場 マニュアルの作成 通知文等の送付 開票作業	○		－	×	×	－	×	－	
総務部	対象: 市議会議員選挙の有権者	1 平成29年4月27日任期満了による市議会議員選挙を執行しました。(1)告示日 平成29年4月9日(2)選挙期日 平成29年4月16日(3)投票所数 67箇所(上村・南信濃地区のみ午後7時閉鎖)(4)期日前投票所 5箇所(本庁、竜丘公民館、伊賀良公民館、上村自治振興センター、南信濃地域交流センター)・本庁 平成29年4月10日～平成29年4月15日までの6日間(午前8時30分～午後8時まで)・その他4会場 平成29年4月11日～平成29年4月14日までの4日間(午前8時30分～午後6時まで)	新設建物による周囲の日照への影響 新設建物による周囲の景観への影響 敷地造成による周囲の路盤への影響 建設・解体工事に伴う粉じんの発生 建設・解体工事に伴う騒音の発生 工事に伴う周辺道路の交通障害 現施設解体工事に伴う廃棄物の発生 新施設の設計でエネルギー消費を抑制	○	○	－	×	×	－	×	－	
意図:	公職選挙法等に則った適正な選挙事務の執行により、市議会議員を選出する。											
86	飯田荘施設整備事業 健康福祉部	第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画による建替えであり、現在の建物の取り壊し撤去を含めて、平成31年3月末を施設整備事業の終了予定とします。										
健康福祉部	対象: 公設民営の特別養護老人ホーム(飯田荘)	老朽化した特別養護老人ホーム飯田荘の建替えを行い、平成30年10月の建物完成を予定しています。長期入所者30人、短期入所者10人の小規模特養となります。										
意図:	公設民営の特別養護老人ホーム飯田荘の建替え	平成29年度に実施設計業務、旧医師住宅の解体、建設工事入札を実施し、平成30年1月に建設工事を起工しました。										
111	民間保育所運営事業 子育て支援課	新制度の施行に伴い、給付額が毎月の園児数により変更すること、さまざまな申請書類があることにより、確認等の申請書類が増加しました。そのため、保育所の事務負担が増加したことに対し、事務処理軽減の改善に取り組む必要があります。広域入所に係る対象園児の増加に伴う運営費負担額の増加を考慮する必要があります。	一般事務 保育料滞納整理事務(督促状発送) 保育料滞納整理事務(文書催告) 保育料滞納整理事務(口座振替促進)	○	○	－	×	×	－	×	－	○
健康福祉部	対象: 民間保育所(児童福祉法により認可を受けた施設)入所児童 市外の公立保育所入所児童	保護者の就労や疾病等により、家庭で保育を受けられない児童への教育・保育サービスの提供により、子育てと就労等の両立を支援する目的で、民間保育所及び認定こども園へ教育・保育を委託し、入所児童に基づく施設型給付費を支払い(毎月)、安心して子育てができる環境整備等の充実を図りました。	保育料滞納整理事務(児童手当から徴収) 保育料滞納整理事務(財産調査・差押)	○	○	○	○	○	○	○	○	
意図:	保育を必要とする家庭への支援、保育所の安定的な運営とより充実した保育サービスの提供の推進、市外公立保育所への入所を希望する家庭の支援	市外での就労や里帰り出産等の理由により、市外の市町村で保育サービスの提供が必要な場合、依頼(委託)を行い、入所児童に基づく施設型給付費の支払い(毎月)を行いました。										
118	公立保育所運営事業 子育て支援課	保護者が家庭でのしつけを学ぶ上で有効な情報や地域との連携の必要性を伝える必要があります。職種によりパート職員の確保が困難なことや賄材料費の値上げによる管理費用が増加しています。	一般事務 一日保育体験の実施(保護者) 地元食材の日を実施 保育料滞納整理事務(督促状発送) 保育料滞納整理事務(文書催告) 保育料滞納整理事務(口座振替促進) 保育料滞納整理事務(児童手当から徴収) 保育料滞納整理事務(財産調査・差押)	○	○	－	×	×	－	×	－	
健康福祉部	対象: 公立保育所(16園)、以上児の家庭数	子どもの通う保育所で、保護者の方が保育の体験を行いました。										
意図:	就学までの基本的な生活や集団生活ができる保育を実施	生活習慣及び社会性を習得するために地域活動事業を通して地域住民との交流体験を行いました。健全な保育所運営を行うために必要なパート職員、代替職員の配置しました。毎月食育の日を設け、食の大切さを考える日として、食育への取り組みを行いました。また、地元や園で採れた野菜を給食の食材にしました。										

平成29年度著しい環境側面一覽表

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	29年度取組											
153	おひさまのエネルギー利用推進事業	平成24年7月にスタートした電力の固定価格買取制度の3年間のプレミアム期間が終了し、買取価格が低減していることから太陽光発電設備の新規設置者が減少しています。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
市民協働環境部	環境モデル都市推進課	平成21年11月に余剰電力の固定価格買取の対象となった太陽光発電設備は平成31年で10年間の買取期間が終了することや、東日本大震災や熊本地震の影響によりエネルギー自立化のニーズの高まりもある中、発電された電気を蓄電し、利用していくことも求められています。	太陽光発電システム設置補助	○			－	－	○	○	－	○	
対象:	市民	地球温暖化防止に向けた取組として太陽エネルギー利用機器の設置補助を行い、太陽光発電設備20件、蓄電システム20件(太陽光発電設備と同時設置を含む)、太陽熱温水器21件の設置に対する補助金の交付を行いました。メガソーラーいいたPR施設に係る設備の維持管理を行い、太陽光発電の普及啓発に取り組みました。地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進しました。	太陽熱温水器設置補助	○			－	○	－	○	－	○	
意図:	太陽光エネルギーを発電や熱として利用することで化石燃料使用の削減と省エネ意識の高揚を図り、温室効果ガス排出量を削減する。	地球温暖化防止に向けた取組として太陽エネルギー利用機器の設置補助を行い、太陽光発電設備20件、蓄電システム20件(太陽光発電設備と同時設置を含む)、太陽熱温水器21件の設置に対する補助金の交付を行いました。メガソーラーいいたPR施設に係る設備の維持管理を行い、太陽光発電の普及啓発に取り組みました。地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進しました。	川路メガソーラーへの視察対応	○			－	－	○	－	○	－	
154	環境にやさしい交通社会形成事業	ハイオディーゼル燃料車及び電気自動車を用車として活用し市民へのPRを図っていますが、更なる低炭素車両転換への推進が必要となります。自転車市民共同利用システムは、マイカーからの乗り換えを図ることで温室効果ガス排出量の削減を目指しています。この事業では自転車の効率的な配置やジテツウ利用者等の増加が必要となります。併せて、事業を安全に安定的に継続するため、自転車の経年劣化に対応した維持管理が条件となります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
市民協働環境部	環境モデル都市推進課	「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減への取組を行いました。低炭素な交通手段への転換を目的とした、自転車市民共同利用システムの運営を行い、ジテツウプロジェクトの利用者増進を図る取組を実施しました。	ノーマイカー通勤の推進	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	市民、事業所、行政	合併処理浄化槽設置基数の増加が低調になってきています。また設置済合併処理浄化槽の適正な維持管理を行うよう啓発します。	EV車の活用及び普及	○			○	○	－	○	－	○	
意図:	ノーマイカー通勤や公共交通の利用により、温室効果ガス排出量を削減する	合併処理浄化槽設置基数の増加が低調になってきています。また設置済合併処理浄化槽の適正な維持管理を行うよう啓発します。	自転車市民共同利用の運用	○			○	○	－	○	－	○	
158	合併処理浄化槽普及促進事業	合併処理浄化槽設置基数の増加が低調になってきています。また設置済合併処理浄化槽の適正な維持管理を行うよう啓発します。	BDF車の活用	○			○	○	○	○	○	○	
上下水道局	下水道課	個別処理区域の合併処理浄化槽設置を促進するため、設置申請者に設置費用の一部を補助金として交付しました。合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われるよう点検・指導を行いました。合併処理浄化槽の清掃に要する経費の一部を清掃補助金として交付し浄化槽の清掃実施を促進しました。	EV車の活用及び普及	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	個別処理区域の住宅・事業所等	合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われるよう点検・指導を行いました。合併処理浄化槽の清掃に要する経費の一部を清掃補助金として交付し浄化槽の清掃実施を促進しました。	庁用車の廃棄	○			○	○	－	○	－	○	
意図:	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する	合併処理浄化槽の清掃に要する経費の一部を清掃補助金として交付し浄化槽の清掃実施を促進しました。	一般事務	○			○	○	－	○	－	○	
159	3R推進事業	生活や事業活動の中に3Rが習慣化することを目指し、発生抑制や再使用にしっかり取り組みながら、資源ごみの適正な分別と排出の徹底を図る必要があります。	合併処理浄化槽の普及促進	○			○	○	－	○	－	○	
市民協働環境部	環境課	・容器包装リサイクル法に基づき、再生利用可能な資源の収集運搬を実施しました。	適正管理の点検指導	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	市民	・広報いいた、ごみリサイクルカレンダー等で、資源ごみの適正な分別と排出方法を周知しました。											
意図:	リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の推進	・資源物回収団体からの38件の補助金申請に対応し、支援を行いました。											
160	地域環境美化推進事業	・生ごみ処理機器を購入した世帯に対し、97件の補助を行いました。											
市民協働環境部	環境課	飯田市域内における不法投棄及びポイ捨て等の根絶を目指し、ポイ捨て等をされにくい環境づくりを進める必要があります。	一般事務	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	一般廃棄物	・春と秋に全市一斉行動日を設定て、道路等のごみ拾いを行い地域の美化活動を実施しました。子供にも参加を呼びかけて大人と一緒に取組みました。・市内20地区に1名づつ飯田市不法投棄・パトロール員を委嘱し、地区内の環境美化重点路線を中心として不法投棄の監視活動を行いました。・各地区まちづくり委員会によるごみ分別に係る啓発、不法投棄物の回収、不法投棄防止施設の整備等に対して補助金を交付し、その活動を支援しました。	不法投棄・ポイ捨てによるごみの放置	○			○	○	－	○	－	○	
意図:	不法投棄とポイ捨て等の防止	・各地区まちづくり委員会によるごみ分別に係る啓発、不法投棄物の回収、不法投棄防止施設の整備等に対して補助金を交付し、その活動を支援しました。											
161	ごみ適正処理事業	ごみの適正な分別と排出を徹底していく必要があります。	一般事務	○			○	○	－	○	－	○	
市民協働環境部	環境課	着実な収集運搬と適正な処理の継続的な実施を行う必要があります。	ごみの収集漏れ	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	一般廃棄物	・稲葉グリーンセンターへの移行に伴い、ごみの分別区分を大きく変更しました。・ごみ分別の変更内容の周知のため、H29.9月～3月分のごみリサイクルカレンダーを随時作成し、配布しました。・同じ新焼却場稼働に伴い、集積所管理、ごみ回収ルートなどを見直し、ごみ収集の最適化を図りました。											
意図:	着実な収集運搬及び適正な処理	・粗大ごみの戸別収集事業の回収対象に、リサイクル家電4品目を新たに加え、排出困難者への利便性を高めました。											
168	桐林勤労者福祉センター運営支援事業	平成29年12月末での公の施設廃止に伴い、他施設等での各種講座の継続について、関係者との協議が必要となっています。また、施設全体の後利用について、「桐林グリーンセンター後利用検討委員会」の検討結果を参考にしながら、検討を行う必要があります。											
産業経済部	産業振興課	・健康増進、自己啓発、余暇活動等を目的とした教室や講座を開催するとともに、施設の維持管理を行いました。	一般事務	○			○	○	－	○	－	○	
対象:	飯田市桐林勤労者福祉センター施設	・桐林グリーンセンターの移転による熱源供給停止に伴い、プール及び浴場を平成29年8月末に廃止、施設については、平成29年12月28日をもって廃止しました。	廃熱を利用した風呂・プール利用	○			○	○	○	○	○	○	
意図:	施設の適切な管理・運営	・施設の廃止に伴う講座等の継続については、講師との協議や受入が見込まれる会場等との調整を行い、移行が完了しています。	浄化槽の点検	○			○	○	○	○	○	○	
184	土地改良事業	高度成長期に整備した農業用施設の老朽化が進み、農作業に支障をきたすとともに、農住混在化が進んだことにより防災面での住民要望も多くなっています。施設の改修及び補修により社会基盤の強化と農地の持続的な活用につなげ、国土保全のための役割を果たしていきます。	浴槽の水質検査	○			○	○	○	○	○	○	
建設部	土木課	地域から多く要望が寄せられている、老朽化が進んだ農道・用排水施設を順次補修や更新整備を進めます。	プールの水質・空気検査	○			○	○	○	○	○	○	
対象:	農業従事者、農村居住者		エアコンのフロン点検	○			○	○	○	○	○	○	
意図:	農作業の効率化と農地を保全する、農業施設の改修及び補修		浴槽の水質検査	○			○	○	○	○	○	○	
189	森林づくり推進事業	森林整備が遅れ、森林の持つ多様な多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割)が効果的に発揮できない状況が生まれています。林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。	タンクからの燃料流出・火災	○			○	○	○	○	○	○	
産業経済部	林務課	森林の持つ多面的機能(水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割)を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林(国有林を除く森林)を対象に、補助金を交付しました。市有林を健全な森林として保全していくため、適切な管理を実施するとともに、豊川水源基金による整備を行いました。森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいた森林学校を開講し各種講座を実施しました。	一般事務	○			○	○	○	○	○	○	
対象:	民有林及び市有林 森林所有者及び市民	降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題です。	森林の再造林、下刈り、除伐	○			○	○	○	○	○	○	
意図:	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理 森林ボランティア等の新たな担い手の確保		森林の搬出間伐	○			○	○	○	○	○	○	
194	林道管理事業	林道(延長161.7km)の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持と通行の安全管理を行うことで、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図りました。	森林の保育間伐・切捨て間伐	○			○	○	○	○	○	○	
産業経済部	林務課	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を中心に効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。	里山及び竹林の整備	○			○	○	○	○	○	○	
対象:	飯田市が管理する林道		各種講座の実施	○			○	○	○	○	○	○	
意図:	林道機能の維持と通行の安全確保を図る												
195	林道整備事業	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を中心に効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。	一般事務	○			○	○	○	○	○	○	
産業経済部	林務課	森林整備や保全管理上、必要不可欠な林道の開設、改良、舗装工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図りました。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架け替えコストの削減を図りました。	公共工事の計画・設計・施工	○			○	○	○	○	○	○	
対象:	未舗装、未改良部分の林道		公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	○	○	
意図:	林道の開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる		現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○	
			現場での事故発生	○			○	○	○	○	○	○	

平成29年度著しい環境側面一覽表

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	29年度取組											
196	治山関連事業	近年、豪雨や台風が多く、土砂災害発生の危険性が年々高まっており、一層の事業推進を図る必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
産業経済部	林務課	森林、道路、人家等を守るため、県単の公共治山事業で採択されなかった小規模な箇所を市単独事業で実施しました。飯田市の重要な水源地である松川入地区において、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、関連改良工事を実施しました。	公共工事の計画・設計・施工	○			×	×	×	×	－	×	
対象:	保安林・治山事業区域内の民有林		公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	－	○	○
意図:	森林荒廃地の早期回復により保全と再生を図る		現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○	
199	林業施設管理運営事業	直営により休館扱いとなっているとちの木	現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	○
産業経済部	林務課	直営により休館扱いとなっているとちの木の取扱いについて、上村まちづくり委員会の特別委員会で、今後の施設の在り方が検討されています。公共施設マネジメントを進める観点から、施設の活用方策を明らかにする必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
対象:	木工センターとちの木と林産物加工施設		廃棄物の発生	○			×						
意図:	施設の利活用を図り、木材利用を促進する		電気の消費	○			×						
			水の消費	○			×						
			地元産材利用による製品化	○			○		○				
			冷蔵庫の廃棄			○	×						
			建物火災			○	×	×	×	×	－	×	○
			地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	×	○
200	森林公園維持管理事業	高速交通網や交流人口の拡大など、時代の変化に対応した公園の在り方が求められおり、ワークショップによるマネジメントプランづくりを行っています。今後は、同プランに基づき、観光と連携したグリーンツーリズムや森林空間を活かした地域振興につなげていく必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
産業経済部	林務課		廃棄物の発生	○			×	×	－	×	－	－	
対象:	野底山森林公園の各施設		電気の消費	○			×		×				
意図:	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る		水の消費	○			×						
			公園内の森林緑地帯の維持管理	○			×	○	○	○	－	○	
			建物火災			○	－	×	×	×	－	×	○
			森林・緑地帯の火災			○	×	×	×	×	×	×	○
			地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	×	○
226	産業団地管理事業	団地の維持・管理内容が経年とともに年々増加傾向にあり、立地企業で組織する各産業団地連絡会の作業も実施しているが、危険箇所や特殊作業を要する箇所など工業課管理用地も多い状況です。平成28年度より工業課管理用地の管理業務委託を実施、安全で効率的な管理ができています。また、引き続き適正に維持管理を行います。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
産業経済部	工業課		環境整備作業	○			－	×	－	－	－	○	○
対象:	市で整備した産業団地等		桐林専用排水管による排水	○			×	－	－	－	－	－	
意図:	適正に維持管理		調整池の決壊			○	×	×	－	－	－	×	
239	社会基盤維持管理事業	高度成長期に整備された多くの道路・河川・水路等の施設構造物において、老朽化による経年劣化及び損傷箇所が年々増加しています。緊急性の高い箇所から修繕・補修を行っています。また、舗装補修についても、舗装の供用性能を一定水準に保つためには、ある程度まとまった規模の補修が必要です。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
建設部	土木課		環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
対象:	飯田市が管理する道路、河川、水路	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、維持管理を計画的に行っていくことで、経済的かつ効率的に社会基盤の強化を図ります。	環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
意図:	道路、河川、水路の維持管理	また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図ります。	現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	
240	道路ネットワーク整備事業	飯田市の道路ネットワークは、国県道を骨格として、それらを結ぶ市道で構成され、特に市道は市民生活に密着した生活道路として利用されていますが、幅員の狭い箇所や線形や勾配の危険な箇所が存在し、通行車両や歩行者の安全確保について多くの改良要望が寄せられています。また、リニア時代に向けて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を広く市内で享受するため、計画的な整備を行うことにより、安全で効率的な道路ネットワークを構築します。	現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○	
建設部	土木課		施設の老朽化	○			×	×	×	－	－	×	
対象:	幹線及び一般市道		補修工事の実施	○			○	○	○	×	－	○	
意図:	幹線及び一般市道の整備により、社会基盤を強化		融雪剤の使用	○			×	×	×	×	－	×	
			一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
			公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×	
			環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
			環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
			工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	
			工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○	
242	防災・安全対策事業	災害時に市道は、緊急輸送路や避難路として利用されますが、未整備区間が多く存在し、計画的な整備が必要です。橋りょうなどの道路構造物についても、定期点検を進め、計画的に長寿命化を図るとともに、耐震整備も必要です。道路や河川の危険箇所についても、点検を行い、危険度の高い箇所から順次整備が必要です。また、近年増加している集中豪雨などによる被害に対しても、順次改修要望に対応していく必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
建設部	土木課		公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×	
対象:	市道、河川、排水路		環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
意図:	道路、河川、排水路の整備により社会基盤を強化する		環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
			現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	
			現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○	
250	土地利用計画推進事業	リニア中央新幹線の開業に向けリニア駅周辺の土地利用・景観育成の検討が必要です。また、交流人口の拡大を目指す中であって、住む人、訪れる人の双方にとって魅力ある地域づくりに向けた、計画的な土地利用と景観・緑の保全・育成を進める必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
建設部	地域計画課		適正な土地利用へ誘導	○			○	○	○	○	－	○	
対象:	飯田市全域		良好な景観及び緑の育成	○			－	－	○	○○	－	○○	○
意図:	計画に基づく土地利用が行われる		開発と周辺環境及び景観との調整				○	○○	－	－	○	－	○○
251	公園整備事業	飯田市の公園は開設年度が古い公園が多く、施設の老朽化が進んでいます。そのため、施設の更新・修繕が必要な箇所が増えています。また、多くの公園が災害時の追いつかない状況です。定期点検や日常点検を実施し、施設の異常箇所の早期発見、迅速な修繕の対応が必要です。また、多くの公園が災害時の避難地として指定されており、安全に避難できる様、施設の更新・修繕が必要です。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
建設部	土木課		公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×	
対象:	市民、公園		環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
意図:	誰もが安全・安心で快適に利用できる公園とすること、都市公園長寿命化計画に基づき風越山麓公園の遊具の更新を実施しました。また、老朽化に伴う公園施設、11箇所の改修工事を実施しました。災害時の避難場所となっている中央公園(中央広場)の耐震診断を実施しました。		環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○
			工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	
			工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○	
255	市営住宅管理事業	市営住宅及び共同施設(以下、「市営住宅等」という。)を法令、例規に規定する責任区分の範囲で、修繕、工事等を実施することで、適正に維持管理します。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
建設部	地域計画課												
対象:	市営住宅		管理代行・指定管理(長野県住宅供給公社)	○			○	○	－	－	－	○	○
意図:	適正な維持管理												

平成29年度著しい環境側面一覧表

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	緊急時	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	29年度取組										
306	公民館維持管理事業	築30年を超える施設が多く、老朽化に伴って改修修繕の必要箇所が年々増加しています。快適な環境を提供するためにエアコンを整備しているが、それに伴って光熱水費が増大しています。	電気の消費 水の消費	○		×	×	×	×	×	×	
教育委員会	公民館	・21施設の貸館業務を行いました。	ガスの消費	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	公民館施設及びその利用者	・施設設備の適切な維持管理を行いました。	灯油の消費	○		×	×	×	×	×	×	○
意図:	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める	・必要な箇所については、施設設備の改修を行いました。	おひさま発電所の設置	○		○	○	○	○	○	○	
			灯油保管施設の維持管理	○		×	×	×	×	×	×	
			灯油の消費	○		×	×	×	×	×	×	○
			地震火災等の発生		○	×	×	×	×	×	×	
321	勤労青少年ホーム運営事業	利用者数等が減少傾向にあります。体育協会との合同事務所となっているため、スポーツ面で青少年のニーズに沿った新規事業を開拓していけるよう取り組んでいく必要があります。ニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりなどの新たな機能を付加した事業を展開していく必要があります。指定管理を含めた今後の施設のあり方について、検討を進める必要があります。	一般事務 電気の消費	○		×	×	×	×	×	×	
教育委員会	公民館		水の消費	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	勤労青少年ホーム利用対象者	勤労青少年ホーム、勤労者体育館の貸し出しを行いました。施設の維持・管理、設備等の保守点検・修繕等の業務を行いました。第二体育館で雨漏りが発生したため、屋根の改修工事を行いました。	ガスの消費	○		×	×	×	×	×	×	
意図:	勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇学習活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。	平成30年度から指定管理者による管理が開始できるように、条例の改正、公募による指定管理者の選定、協定書の締結等の事務を進めました。	灯油の消費	○		×	×	×	×	×	×	○
			おひさま発電所の設置	○		○	○	○	○	○	○	
			灯油保管施設の維持管理	○		×	×	×	×	×	×	
			地震火災等の発生		○	×	×	×	×	×	×	
333	文化会館等管理運営事業	飯田市公共施設マネジメントの基本的な考え方にに基づき、施設の整備方針をふまえた計画的な改修を進めます。	一般事務	○		×	×	×	×	×	×	
教育委員会	文化会館	日常的な維持管理、定期点検を実施し、安全・安心・快適に施設を利用できるようにします。	施設管理事務	○		×	×	×	×	×	×	○
対象:	市民	・文化会館を安全、安心、快適に利用できるよう日常的な維持管理、点検を実施しました。	グリーンカーテンの設置	○		×	×	×	×	×	×	
意図:	文化会館、人形劇場を安定的に安全・快適な環境で利用できるようにする。	・大きな施設修繕として、ホール客席及び会館棟の屋上防水工事を実施しました。	施設整備・保守点検		○	×	×	×	×	×	×	
		・文化会館、人形劇場、市公民館、鼎公民館の4つのホールを適切に利用できるよう、ホール業務を専門家に委託しました。	地震による灯油の流出		○	×	×	×	×	×	×	
339	歴史研究所事業	地域に残る歴史資料は、市民にとってのかけがえのない文化財産であり、その多くが時間の経過とともに失われていく危機にあることから、これを調査・収集・整理・保存・公開し、市民や研究者が積極的に活用できる環境を整えながら、飯田の魅力のひとつとして大切に保存継承していきます。関係機関との連携を図りながら、その継承を、地域にある史料は地域の人々と協働で調査・研究を行い、保存するよう進めます。また、刊行物の継続的な出版と教育事業を通じて広く市民に還元し、人材育成(人づくり)や地育力を高める活動を行います。	一般事務 紙の消費	○		×	×	×	×	×	×	
教育委員会	歴史研究所		ガソリンの消費	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	①市民(小・中・高校生) ②史料資料(飯田・下伊那の文書史料、図像等史料、歴史的建造物・景観等)③歴史研究に携わる人又は興味	(1)史料調査・研究・保存活動:私文書の調査として、「小島家文書」(座光寺:養蚕関係)など6件について調査及び目録作成を行いました。また、行政文書として「旧川路村文書」の継続整理を行いました。	グリーン商品の購入	○		○	○	○	○	○	○	
意図:	①飯田下伊那の歴史の関心を高める ②建造物を含め史料の収集、調査研究、歴史資料の保存、聞き取り調査等で歴史文化を解明 ③永年地方史を研究する人の養成、飯田の人づくり	(2)市民への還元・共有(刊行物、教育事業):飯田アカデミア、歴研ゼミナール、地域史講座、地域史研究集会を開催し、研究成果の発表や市民と一緒に研究活動を行いました。また、刊行物として『歴史研究所年報15』及び『飯田町のくらし7』を発行しました。	歴史資料の保存・活用	○		○	○	○	○	○	○	
		(3)地方史を研究する人材づくり:市民研究員が主催する「市民研究員ゼミ」を開催し研究人材の育成を図りました。										
348	災害復旧事業	多くの道路、河川、水路、公園、農業施設等では老朽化による経年劣化及び損傷箇所が急激に増加しています。災害を未然に防ぐため緊急性の高い箇所から改良・改修・修繕・補修等を行っていますが、すべての対応ができていないため、異常な天然現象における災害リスクの解消ができていない状況です。	一般事務 公共工事の実施	○		×	×	×	×	×	×	
建設部	土木課	飯田市が管理する道路、河川、水路、公園、農業施設及び個人農地	環境配慮設計の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
対象:	道路、河川、水路、公園、農業施設、農地の災害復旧	異常な天然現象(時間雨量20mmを超える降雨量若しくは24時間雨量で80mmを超える降雨量等)により災害が発生した時は、速やかに現地調査、被災状況の把握を行い、早期に復旧工事を行います。29年度は、以下の災害に対する復旧工事等を行いました。	環境配慮工事の実施	○		○	○	○	○	○	○	○
意図:		①29年7月4～5日 豪雨災害 ②29年8月7～8日 台風5号災害 ③29年10月22日 台風21号災害	現場での事故発生		○	×	×	×	×	×	×	
			現場での事故防止		○	○	○	○	○	○	○	
349	林道災害復旧事業	近年、豪雨や台風が多く、災害発生危険性が年々高まっています。	一般事務	○		×	×	×	×	×	×	
産業経済部	林務課		公共工事の計画・設計・施工	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	林道施設の災害箇所	台風や豪雨災害で被災した林道復旧工事を実施しました。	公共工事の環境配慮設計・施工	○		○	○	○	○	○	○	
意図:	原状回復を図る		現場での事故防止	○		○	○	○	○	○	○	
			現場での事故発生		○	×	×	×	×	×	×	○
380	市立病院介護老人保健施設運営事業	サービス収入の安定的確保のため、入所・通所利用者の安定的確保と老健本来の目的である在宅復帰支援を重点に事業を実施しました。利用者数の確保の点では目標値に到達できませんでしたが、在宅復帰率は6ヶ月平均で30%以上を確保することができ、サービス収入の確保の点では効果がありました。今後も引き続き努力します。	一般事務 施設管理	○		×	×	×	×	×	×	
市立病院	市立病院介護老人保健施設	・入所サービスにおいては、現行の「在宅復帰・在宅療養支援型」よりさらに収益性の高い「在宅強化型」老健への移行を目指し、リハビリテーションの充実や多職種及び市立病院を始めとする他事業所との連携強化などの取り組みを行いました。移行要件の一つである在宅復帰率50%超(6カ月平均)に対し当期中の在宅復帰率の最高値は50.0%であったため強化型への移行は果たせませんでした。もう一步のところまでに体制を整えることができました。・通所リハビリテーションでは予防介護にも目を向け要支援者の積極的な受け入れを行いました。・これらの取り組みも通し利用者増を図ってまいりました。	地域食材による食事の提供	○		○	×	○	○	○	○	
対象:	入所、短期入所、通所等の利用者		廃棄物(感染性含む)の廃棄	○		×	×	×	×	×	×	
意図:	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供します		太陽光による発電	○		×	×	×	×	×	×	
			緑化の推進	○		○	×	×	×	×	×	○
			フロンの漏えい		○	×	×	×	×	×	×	○
385	上水道維持管理事業	水道事業は、全般的に専門技術、知識が必要とされますが、職員の退職・人事異動により十分な指示ができなくなる恐れがあり、後継技術者の養成が急務です。	一般事務 電気の消費	○		×	×	×	×	×	×	
上下水道局	水道課	安全でおいしい水道水を安定して供給することを目標として、水道施設を効率良く安全に管理し、水道施設全般における維持管理を行いました。	浄水汚泥の収集運搬処理	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	上水道事業及び簡易水道事業施設	<水質検査>	汚泥上水の配水	○		×	×	×	×	×	×	
意図:	適正に施設を維持管理することにより、公衆衛生及び生活環境の向上を図る	定期検査104箇所 毎日検査(3項目)52箇所	廃棄物の発生	○		×	×	×	×	×	×	
		<浄水場、配水池及び関連施設維持管理業務>	し尿及び雑排水の発生	○		×	×	×	×	×	×	
		水源管理14箇所 外構衛生21箇所 運転監視1式 施設点検289箇所	浄水の異常・浄水機能の喪失		○	×	×	×	×	×	×	○
			浄水汚泥の流出		○	×	×	×	×	×	×	
386	鉛製給水管布設替事業	計画的に事業を実施すると共に、他事業との連携により、効率的な事業実施を行い鉛製給水管の解消を図ります。	一般事務	○		×	×	×	×	×	×	
上下水道局	水道課	配水本管から量水器までの間に設置している鉛製給水管について、下記の項目を計画的に実施して安全安心な水道水の提供を行いました。	建設発生土	○		×	×	×	×	×	×	
対象:	上水道区域内の鉛製給水管	1.鉛製給水管布設替工事を単独発注し布設替	建設廃棄物	○		×	×	×	×	×	×	
意図:	鉛製給水管を布設替することにより、安全安心な水道水の供給を行う	2.老朽配水本管の布設替に伴う鉛製給水管の布設替	軽油・ガソリンの使用	○		×	×	×	×	×	×	
		3.下水道工事、ガス工事等の他事業に伴う給水切り替で行う鉛製給水管の布設替	騒音・振動・排気ガスの発生	○		×	×	×	×	×	×	
		4.公道分漏水修理工事・宅内改造工事に伴う鉛製給水管の布設替	環境に配慮した設計精算、施工監督	○		○	○	○	○	○	○	○
		5.不明管の調査を実施し鉛管の有無を確認	水道管等の破損・離脱		○	×	×	×	×	×	×	
			建設機械からの油類流出		○	×	×	×	×	×	×	

平成29年度著しい環境側面一覧表

事業No.	事務事業名	課題認識	環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい
部名	課名	29年度取組											
387	送水能力強化事業	将来の水需要予測を検討し、効果的な計画を立てる事が重要です。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	水道課		建設発生土	○							×	－	
対象:	野底浄水場上黒田配水区域	野底浄水場は、豪雨時等に水源の濁度が著しく上昇して水道水を作れないことがあります。この状況を回避するために砂払浄水場からの送水施設を整備し、野底浄水場系の補完強化を図りました。	建設廃棄物	○			×		×				
意図:	砂払浄水場から上黒田配水池への安定した送水確保により、野底浄水場系の補完強化を図る		軽油・ガソリンの使用	○		×		×		×			
			騒音・振動・排気ガスの発生	○		×							
			環境に配慮した設計精算、施工監督	○		○	○	○	○	○	○	○	○
			水道管等の破損・離脱			○	×						
			建設機械からの油類流出			○	×						
388	配水施設更新整備事業	施設の老朽化対策及び耐震性確保のための早急な更新が必要です。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	水道課	リニア等の広域交通時代を見据えた水需要への対応を踏まえ、計画的に水道施設の耐震化・長寿命化計画を進めていくことが必要です。	建設発生土	○							×		
対象:	上水道区域内の老朽化の著しい導・送・配水管、配水池	老朽化及び耐震性の低い配水池、導水管、送水管、配水管を更新し、水道水の安定供給を図りました。	建設廃棄物	○				×		×			
意図:	管路、配水池を更新し安全性を高め、水道水の安定供給を図る		軽油・ガソリンの使用	○		×		×		×			
			騒音・振動・排気ガスの発生	○		×							
			環境に配慮した設計精算、施工監督	○		○	○		○	○	○	○	○
			水道管等の破損・離脱			○	×						
			建設機械からの油類流出			○	×			×			
389	浄水施設更新整備事業	現施設の運転を停止することなく、水道水の供給をしながらの更新であり、機器及び配管の切替方法を十分に検討し、実施における綿密な施行計画と迅速な実施が必要です。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	水道課		建設発生土	○							×		
対象:	上水道及び簡易水道の浄水施設	妙琴浄水場更新事業は、第一期工事として平成32年度竣工を目標に浄水池と管理棟の合棟による建設を進めました。	建設廃棄物	○				×		×			
意図:	浄水施設の更新整備を行い、水道水の安定供給をし生活・事業基盤の向上を図る	遠山簡易水道浄水施設更新事業(大野水源)は、耐塩素性病原生物のクリプトスポリジウム等対策のため、膜ろ過ユニットを設置しました。	軽油・ガソリンの使用	○		×		×		×			
			騒音・振動・排気ガスの発生	○		×							
			環境に配慮した設計精算、施工監督	○		○	○		○	○	○	○	○
			水道管等の破損・離脱			○	×						
			建設機械からの油類流出			○	×			×			
392	雨水排水対策事業	宅地内の雨水有効利用・排出の抑制と、市全体の河川や道路側溝、用排水路等の既存施設を総合的に組み合わせた効率的な雨水排水対策を推進します。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	下水道課	公共下水道飯田処理区(雨水)認可区域内の既存施設(河川・用排水路・道路側溝等)の現況調査を実施しました。	雨水貯留浸透施設の設置	○			－	－	－	○	○	－	○
対象:	宅地内の雨水貯留浸透施設、既存排水施設(河川、道路側溝、用排水路等)	宅地内の雨水の有効利用及び排出抑制を図るため、雨水貯留浸透施設を設置する者に対し、設置費用の一部を補助金交付要綱により補助しました。											
意図:	雨水の地下浸透及び有効利用による水環境の再生、既存排水施設の雨水排水能力評価												
394	下水処理施設維持管理事業	処理施設が老朽化していく中で、維持管理業者との更なる連携を強化し、適正な維持管理に努めます。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	下水浄化センター		施設・機器の整備	○			○	○	－	○	○	○	
対象:	下水処理施設	松尾浄化管理センター他維持管理業務委託、農業集落排水処理施設管理業務委託における5か年の長期契約(2年目)を実施し、適切な維持管理を行うことにより、生活環境の向上と河川の水質保全を図りました。	放流水の水質	○			×	×	－	×	×	×	○
意図:	下水処理場の適切な管理・放流水質基準の遵守	松尾浄化管理センターの汚泥処理は、平成28年度末で汚泥焼却炉を停止し、平成29年度から脱水汚泥で全量搬出しています。焼却炉の燃料としていた消化ガスが余剰となるため、平成28年度に消化ガス発電設備を4基増設し、平成29年度から合計7基(175kw)で発電を行い、下水道資源の有効活用、二酸化炭素及び電気使用量(発電電力を全量場内で使用)の削減を図りました。	産業廃棄物	○			×	×	×	×	×	×	○
			一般廃棄物	○			×	×	×	×	×	×	○
			薬品の管理	○			○	○	－	－	○		
			水質試験廃液	○			×	×	×	×	×	×	×
			一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
395	集合処理区域内水洗化促進事業	高齢者世帯及び空家が増加傾向にあり、下水道接続が進まない現状です。	水洗化の促進	○			○	－	－	○	－	－	○
上下水道局	下水道課	下水道未接続世帯に対して、広報や訪問等により水洗化の必要性を説明して啓発折衝を行い、下水道への接続を推進します。											
対象:	集合処理区域内の下水道に接続していない住宅・事業所等	集合処理区内における未水洗化世帯に対して水洗化普及促進を行いました。特に前年度に実施したアンケート調査によって水洗化を検討されている世帯、水洗化率の低い地域の平日留守がちな世帯に対して職員による休日訪問を実施して水洗化の促進活動を行いました。											
意図:	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する												
397	下水道管渠長寿命化対策事業(含む地震対策)	長寿命化計画策定時点(H25)において、経過年数50年未満の管路は本事業の対象外となっています。持続可能な下水道事業の実施を図るため、長寿命化計画からストックマネジメントへの展開を検討します。また、重要度の高い管路施設の地震対策を計画的に実施し、ライフラインの信頼性を確保する必要があります。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	下水道課	飯田市下水道長寿命化計画(飯田処理区第Ⅰ期)及び飯田市下水道総合地震対策計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用し計画的な対策を実施しました。	長寿命化(地震)対策工事の実施	○			×	×	×	×	×	－	
対象:	布設後50年を経過した管路施設		環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	－	○	－	○
意図:	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する。下水道本管事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る		汚水の流出				○	×	×	－	×	×	
399	下水道整備事業	これからのリニア・都市計画道路等交通体系の変化を見据え、他事業にかかる新設や布設替えについて、関係機関等との連携によって効率的な整備を行います。	一般事務	○			－	×	×	－	×	－	
上下水道局	下水道課	JR、国、県、市等が実施する事業に伴い、必要となる下水道本管の新設、布設替及び公共樹設置を各発注者との連携により経済的・効率的な整備を行いました。	下水道整備工事の実施	○			×	×	×	×	×	－	
対象:	集合処理区域(公共2処理区、特環2処理区、農集排9処理区、小規模2処理区)の管路新設、布設替え及び公共樹設置		環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	－	○	－	○
意図:	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する												
市民協働環境部	団体業務支援及び地域団体等が行う活動支援		ひさかた和紙の保存活動(紙すき)	○			○	○	○	○	○	○	○
対象:	下久堅自治振興センター		桜の里つくり(桜の保存活動)	○			○	○	○	○	○	○	○
意図:			通知等による環境啓発	○			○	○	○	○	○	○	
			ごみ拾い・河川清掃	○			○	○	○	○	○	○	○
			意識啓発(公民館活動)	○			○	○	○	○	○	○	
			ごみ集積所の管理(廃棄物適正処理)	○			○	○	○	○	○	○	
			財産区林の管理(森林整備)	○			○	○	○	○	○	○	